



夢実現・挑戦

全国学力・学習状況調査の結果分析-2-

前号に続き、3年生が4月に受けた全国学力・学習状況調査の生徒質問紙結果をお知らせします。質問事項に対して、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の肯定的な回答をした生徒の割合と、全国の割合を比較して差が大きかった質問項目です。

質問事項	全国との差
○毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。※	+19.0
○1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていましたか。	+10.7
○学校に行くのは楽しいと思いますか。	+10.6
○朝食を毎日食べていますか。※	+8.8
○学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気づいたりすることができていますか。	+8.7
○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。※	+8.5
○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。※	+8.4
○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	+8.0
●あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができると思いますか。	-29.9
●1、2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。（「ほぼ毎日」と回答した生徒）	-29.8
●1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	-19.7
●困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談ができますか。	-9.9

（※印は、肯定的な意見が100%だった項目。）

【成果と課題】

- 「同時刻の就寝」「毎日朝食」「道徳での学び合い」「幸福感」「人の役に立ちたい」項目では、肯定的な意見が100%だった。毎月実施している「スマイル大作戦（基本的な生活習慣育成プロジェクト）」の実施、昨年度の道徳科の取組が成果を上げていると考えられる。家庭のご協力にも感謝。
- 「幸福感」や「地域への貢献」などは、学校と家庭・地域の連携が影響していると考える。ただ、昨年度に比べると地域貢献の意識が下がっている。今後、更なる連携充実を図りたい。
- ICT機器の使用に関する意識に全国差を感じられる。今後、ICT機器の日常使いや効果的な活用について、さらに意識をしていきたい。

津奈木中学校学校だより
令和7年10月3日
第6号
文責：校長 内場

- 自分の考えをもったり話しあったりすることは意識の向上が見られるが、「分かりやすく」「工夫して」という視点では課題が残る。

【今後の対策】

- ◇スマイル大作戦については、今後も継続して取り組む。また、保健便りでのお知らせ等を行なながら、家庭との連携をさらに進めていく。
- ◇道徳科での取組の一定の効果を踏まえ、引き続き道徳科授業での学び合いを進めるとともに、他教科においても学び合いスキルを効果的に活用していく。
- ◇ICT機器の活用（プレゼン等）については、授業や生徒会でも活用をしているが、全職員がさらに意識をして、その活用を進めていく。
- ◇生徒の様子観察や生徒理解研修を充実させるとともに、生徒との面談の機会を設定し、生徒の困りごとに丁寧に対応できる体制を整える。

基礎基本の大切さ



本校では国語、数学、英語の3教科について、「基礎学力テスト」を実施しています。1年生から3年生まで、全員が同じ問題に取り組み、基礎学力の定着状況を確認するものです。今回は数学でした。テスト前の1週間、朝自習に、整数・分数の四則演算の問題に取り組み、テストに臨みます。1年生の学習内容に揃えてあるため、全員が満点をとってほしいところですが、いかがだったでしょうか。

今、子供たちに求められる学力として「思考力、判断力、表現力等」が問われています。そのため、授業でもその取組に注目しがちですが、その力を発揮するためには、考える基になる知識や技能は必須です。その基礎基本を補完するために、本校では、朝自習やつなぎタイム、家庭学習などを活用して、学力向上を図っているところです。昔から言われている「読み・書き・計算」の力は、今でも大切にされている力だと思います。

先日、1年生国語「古典」の研究授業で、「竹取物語」の冒頭部分を音読している様子を見せてもらいました。小学校ではよく見る風景ですが、中学校でも大切にされるべき学習活動だなど改めて感じました。「今は昔…」懐かしい響きです。